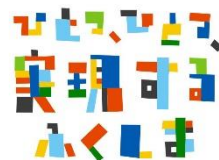


主要な農作物の生育情報

令和7年度 第7号

(令和7年10月8日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

出穂期が平年より早かったことに加え、出穂以降の高温により登熟日数も短くなり、コシヒカリの成熟期は、本部（郡山市）では9月13日（平年差 -6日）、会津地域研究所（会津坂下町）では9月15日（平年差 ±0日）、浜地域研究所（相馬市）では9月12日（平年差 -9日）と平年並から早まりました。

稈長は平年並から長くなりました。9月30日時点の倒伏面積は、平年より少ないですが、今後の降雨により倒伏程度が大きくなる可能性があります。

県内の刈取始期（5%到達）は9月14日（平年9月20日）と早まりました。9月30日現在、刈取進捗は44%（昨年32%）となっています。

表1 水稻主要品種の稈長、穂数、成熟期と登熟日数（農業総合センター）

調査場所	品 種	移植期 (月. 日)	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	成熟期 (月. 日)	登熟日数 (日)
本 部	ひとめぼれ	5. 15	86. 3 (106%)	475 (100%)	9. 5 (- 5)	38 (-1)
	天 の つ ぶ	5. 15	79. 2 (112%)	451 (108%)	9. 10 (- 2)	39 (-1)
	コシヒカリ	5. 15	96. 9 (106%)	401 (103%)	9. 13 (- 6)	37 (-4)
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5. 20	91. 3 (100%)	520 (93%)	9. 6 (- 5)	41 (-2)
	天 の つ ぶ	5. 20	81. 9 (107%)	470 (94%)	9. 13 (±0)	42 (-1)
	コシヒカリ	5. 20	106. 8 (109%)	441 (96%)	9. 15 (±0)	42(±0)
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5. 9	94. 9 (103%)	522 (95%)	9. 3 (- 7)	39 (-3)
	天 の つ ぶ	5. 9	82. 1 (108%)	510 (100%)	9. 9 (- 9)	43 (-5)
	コシヒカリ	5. 9	105. 5 (106%)	444 (102%)	9. 12 (- 9)	40 (-5)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均（2020～2024年）との比較を表す。稈長と穂数は、前5年平均に対する比率、成熟期と登熟日数は前5年平均との日数差。

【野菜】

1 秋ブロッコリー

定植は8月上旬から始まりましたが、高温の影響により、平年よりやや遅い9月下旬に概ね終了しました。定植後の生育は順調で、収穫は9月末から開始しており、ピークは10月中下旬頃の見込みです。

病害虫は、一部で黒すす病やヨトウムシ類等が発生しています。

2 秋冬にら

夏季から9月上旬の高温や湿害の影響により、草丈、分げつ数（葉数）が少なく、葉幅も狭い状況であり、株養成が十分でないほ場が散見されています。現在、順次花刈りが行われており、10月上中旬頃から捨刈り、10月下旬から収穫が開始される見込みです。

病害虫は、アザミウマ類やさび病が発生しています。

3 いちご

高温により、普通育苗の花芽分化は平年より7日程度遅れており、定植作業は9月下旬から行われ、生育は順調に経過しています。

病害虫は、一部のほ場で、育苗床から継続してアブラムシ類や炭そ病が発生しています。

4 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型は 15 段を収穫中で、摘芯作業は平年並みの9月中旬に終了してい

ます。南会津地方の5月下旬定植の作型は8段を収穫中で、摘芯作業は平年並の9月上旬に終了しています。全域的に、夏季の高温により、着果量が少なく、小玉傾向となっています。

病害虫は、県南地方では、黄化葉巻病、黄化病、すすかび病、コナジラミ類、オオタバコガが発生しています。また、一部のほ場でトマトキバガの発生も見られています。南会津地方では、コナジラミ類やオオタバコガが発生しています。また、一部のほ場では、青枯病、かいよう病、灰色かび病、褐色輪紋病が発生しています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における10月1日現在の生育概況）

1 なし

（1）収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月12日で平年より5日早く、昨年より6日遅くなりました。果実の大きさは482gで平年より大きく、糖度は13.9° Brixで平年よりやや高くなりました。

「二十世紀」の収穫盛期は9月13日で平年より8日早く、昨年より2日遅くなりました。果実の大きさは366gで平年よりやや小さく、糖度は11.8° Brixで平年よりやや高くなりました。

「あきづき」の収穫盛期は9月26日で平年より2日早く、昨年より10日遅くなりました。果実の大きさは528gで平年より大きく、糖度は13.5° Brixで平年並でした。

2 りんご

（1）果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が77.1mm（平年比96%）、横径が83.0mm（平年比95%）と平年並の状況です。

満開後日数で比較すると、平年より小さい状況です。

（2）成熟状況

「ふじ」の満開後159日（9月30日）における成熟調査の結果は、果実硬度が16.8ポンドと平年よりやや高く、糖度は12.0° Brixで平年よりやや低く、リンゴ酸含量は0.39mg/100mlで平年並、デンプン指数が2.9と平年より低くなっています。果皮中クロロフィル含量が平年より低く、果皮中アントシアニン含量が平年よりかなり低い状況です。

※りんごのデンプン指数:指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型は、定植作業が完了し、その後の生育も順調に進んでいます。定植の早い会津地方の一部地域では出荷が開始しました。

害虫では、コナガなどの発生は平年並の状況です。

2 キク類

10月咲きの生育は、順調に進んでいますが、一部の品種で草丈の低い様子が見られます。9月下旬時点で概ね発蕾が確認されています。

害虫は、オオタバコガによる食害が一部地域で見られますが、その他の害虫の発生は平年並の状況です。

【飼料作物】

1 牧草

9月中旬から3番草の収穫が行われています。高温少雨の影響により一部地域で2番草の夏枯れが散見されましたが、3番草では草姿の回復がみられ、収量は平年並です。

2 飼料用トウモロコシ

ほとんどの地域で収穫作業が終わりました。収量は一部地域で雨不足による生育不良やクマによる食害の影響により、平年比1割減～平年並となりました。

3 W C S用稲

9月下旬までにほとんどの収穫が完了し、収量は平年並です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

【農作物の盗難防止対策を実施しましょう！】

- 収穫物は鍵の掛かる倉庫に保管し、窓や出入り口の施錠を徹底しましょう。
- 倉庫には防犯カメラやセンサーライトを設置するとともに、通行人から見える位置に「防犯カメラ作動中」等のステッカーを設置しましょう。
- 定期的な見回りを実施し、異常があれば速やかに警察に通報しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

降雨が多くなっている地域では、地盤が緩み、崩れやすくなっているところがありますので、ほ場点検を行ってから作業を開始しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>